

部分圧縮・インサイジングによる効率的防腐処理方法

福島県林業研究センター 林産資源部
平成16～17年度 業務報告

1 部門名

林業－木材加工－加工・改良
分類コード 18-14-24000000

2 担当者

高信則男

3 要旨

木材保存剤の注入が難しいカラマツ円柱加工材について、その注入量を増加させる方法と、注入処理が強度に及ぼす影響を検討したところ、下記の結果を得た。

- (1) インサイジング処理^{注)}と平板プレスによる8mmの圧縮処理を併用することで、木材保存剤の注入量は無処理材に対して約2.4倍、インサイジングのみの処理材に対して約1.4倍と増加する。ただし、10mm程度の圧縮処理では材の破壊頻度が高くなる。
- (2) 圧縮処理による変形部分は、保存剤の含浸・乾燥後にはほぼ元の寸法まで回復する。また、圧縮処理による顕著な強度低下は認められない。
- (3) 圧縮処理の範囲を限定することで、最も腐朽しやすい地際接触部のみを選択的に処理することが可能となる。

4 その他の資料等

- (1) 注入性改善処理による道産針葉樹材への薬液含浸(第1報) 長谷川 祐ら:北海道林産試験場報告 第20巻
2006

注) インサイジング:木材中に保存処理薬剤をより深く、均等に浸透させるため、木材の表面に傷を付けること。